



枕崎市立 別府中学校

生徒数 53人
学級数 4クラス



《テーマ》

人権課題に対する認識と理解を深め、自尊感情と実践力を育む生徒の育成

研究に当たって(テーマ設定の理由)

本校では、子どもの基本的な人権を大切にしながら教育活動に携わる一方、人権問題に関する認識を高め、反差別の立場から偏見や差別を見抜くことができる豊かな感性と思考力の育成に取り組んできた。様々な活動を通して、自尊感情を育み、あらゆる偏見や差別をなくしていこうとする意欲と実践力をもった生徒を育成したいと考え、本テーマを設定した。

研究スケジュール

4月11日(月) 職員研修(人権同和教育の進め方)
4月13日(水) いじめ問題を考える週間の取組(道徳)
6月19日(日) ワークショップ型男女共同参画講座(講師招聘)
7月15日(金) 「輝け!夢・命推進事業」命の授業(講師招聘)
9月14日(水) いじめ問題を考える週間の取組(道徳)
9月15日(木) 人権学習会「インターネットと人権侵害」(講師招聘)
9月22日(木) 「輝け!夢・命推進事業」夢の授業(講師招聘)
10月3日(月) 職員研修「性的マイノリティへの正しい理解と認識」(講師招聘)
10月5日(水) SOSの出し方教室(講師招聘)
11月26日(土) 一園二校(保育園、小学校、中学校)の合同家庭教育学級
12月5日(月) 職員研修「北朝鮮当局による拉致問題」(講師招聘)

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

- 一園二校(保育園、小学校、中学校)の合同家庭教育学級
保から中までの15年間を見通し、校区全体で子どもを見守り育てていこうとする意識を高める機会を設けた。講演会では、一園二校の保護者・子どもが参加し、家庭での人権について家庭教育の立場から考えることができた。
- 「輝け!夢・命推進事業」夢の授業、命の授業
枕崎市教育委員会が主催となり、未来の担い手である子どもたちに「自分の将来に夢をもち、どんな困難な出来事があったとしても、かけがえのない尊い自分の命を大切に、めげず、あきらめることなく、夢の実現のために自分の命を輝かせてほしい」と願い、「輝け!夢・命」推進事業を行っている。今年度は、教員兼お笑い芸人のオシエルズ(枕崎市出身)による「夢の授業」と腰塚勇人氏による「命の授業」を行った。
- 人権感覚を育む生徒会活動
生徒会が中心となり、互いのよさを見付けるためにハピネスボックスやエナジーツリーの作成、募金活動、一人一鉢運動(ひまわり)、毎週水曜日の朝のボランティア活動等を行っている。
- 構成的グループエンカウターの実施
毎月の生徒集会で各専門部が中心となり、構成的グループエンカウターを実施し、生徒一人一人の学級への所属意識や人間関係の実態把握、仲間づくりを行っている。



【一園二校合同家庭教育学級】



【「輝け!夢・命推進事業」夢の授業、命の授業】



【ハピネスボックス】 【エナジーツリー】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと)

- 教職員と生徒が、これまで以上に人権を大切にする意識をもち、自尊感情が生まれ、人権に関する正しい認識と理解が深まり、人権意識が高まっている。
- 目の前の「現実」「結果」だけを見るのではなく、「事実」「過程」「背景」を見つめ、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる生徒を育成していきたい。